

ITOSUGI

いとすぎの丘



卒業式



入学式



カンボジア国際保健医療支援実習

国家試験壮行会

Pick Up



平成24年2月、看護師・保健師国家試験を前に学内で壮行会が開催されました。3年生からは、それぞれの思いを花びらに記した満開の桜の木が贈られました。

■ 卒業式・入学式

■ 学生生活

カンボジア国際保健医療支援実習
英国語学研修
名古屋第一赤十字病院
大規模災害実働訓練
RCT☆LINK

■ 大学の活動

東日本大震災復興支援活動
Academic Library
研究の窓

■ Information

卒業式



退職挨拶

前学長 渡邊 英夫

一期一会、第2代学長を平成20年4月から平成24年3月まで勤めました。多くの人との出会い、全教職員、学生諸君の力を借り、全員力を合わせ、本学をより良くする為邁進してまいりました。

実習施設との関係を改善し、より充実した実習ができるようになりました。文部科学省の認定評価の難関を無事乗り越えました。そして念願の大学院修士課程の開設、2年の経過後、文部科学省の承認が下り、いよいよ前進をします。修士課程と合わせ専門看護師コースも実施いたしております。

善いことばかりなら良いのですが、愛知県保健所実習制限の影響で保健師国家試験受験資格を一部の学生にしか認定することが出来なくなりました。また、やむなく3年次編入制度を廃止することとなりました。まことに残念で御座います。赤十字海外実習、英国語学研修なども軌道に乗ってきました。また災害訓練も充実してきました。

本学は大学になってまだ日が浅く、これからですがよき校風、よき伝統を皆して築いて行こうではありませんか。

大学を去るに当たり、皆様に感謝すると共に、諸君の健闘を期待し、信じています。ありがとう。



4年間を振り返って

卒業生 丸山 かすみ

この4年間で私が得たものは『自分らしさ』でした。日々の学習や、実習で出会った多くの患者様を通して、あらためて「自分で考える」ことの大切さを感じ、自分自身を見つめ直すことが出来た4年間だったと思います。

大学生活は楽しいことばかりではなく、時には壁にぶつかることもありました。しかし、同じ時間を過ごしてきた友人や、親身になって話を聞いて力になって下さった先生方、様々な場面で支えて下さった職員の皆様のおかげで壁を乗り越え、自分らしく成長することが出来ました。

4年間を振り返ってみると、多くの人に支えられていたことを実感し、充実した大学生活をおくることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今後はこれまでの経験を活かし、看護師として活躍できるよう頑張っていきたいと思います。





新学長から入学生へのメッセージ

新学長 安藤 恒三郎

この4月から第3代学長に就任いたしました。これから今まで以上に、活気に満ちた素晴らしい大学になるよう全学を挙げて取り組みます。もちろん学生のみなさんがその一員であり主役であることは言うまでもありません。

昨年3月の東日本大震災および福島原発事故では、全国の赤十字施設から、約5千人の看護師・医師などが自ら希望して災害地に救護班として入り活動しました。本学の学生も自ら手を挙げてボランティア活動を行ったと聞いております。Our world Your move という赤十字の人道精神そのものでした。教育とは、学習者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスで、学習によってより望ましい状態に変化（行動変容）することです。卒業時に望ましい状態を達成するためには、しっかりとした目標を持って自ら行動することが大切です。本学は赤十字精神を身につけた看護専門職を育てる大学であり、看護学を通じて生涯を貫く感性・知性を磨き育てる学び舎です。学生生活を充分楽しんで、いろんな人との繋がりを実感し、人間性に磨きをかけてください。



目標目指してステップアップ

新入生 中野 裕斗

私は、日本赤十字豊田看護大学に入学することができ、本当に嬉しく思っています。

昨年起きた東日本大震災では、赤十字のあらゆる活動が報道され、私も何か出来ることを

と、募金をさせていただきました。またこの震災の少し前にはニュージーランドでも震災がありました。赤十字は、常に世界中で必要とされている救援活動をしています。私も日本だけではなく、世界中の医療支援に目を向け、社会貢献できる看護師を目指して勉学に励みたいです。

新しく始まる大学生活では圧倒的に女性が多く、多少の不安を感じますが、お互いにより向上し合えるよき仲間に出会えることが楽しみです。サークル活動などに積極的に参加し、看護師として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を会得し、自分の目標とする看護師を目指して一歩ずつ確実にステップアップしていきたいです。



カンボジア国際保健医療支援実習

医療体制整備の必要性

4年生 加藤 京

カンボジア国際保健医療支援実習において、私たちは様々な国際機関や医療施設を訪問しました。その中で最も印象に残っているのは、プレイベン州で見学した公立のリフェラル病院の様子です。

この病院は、病棟の老朽化が進んでいたり、医薬品や医療機器の数が不足しており、日本と比べると十分な医療設備が整っていませんでした。また、人材不足のため、医師や看護師は時間外労働や過重労働が当然



現地の保健所での意見交換



引率の先生と病院訪問

のようになっていました。劣悪な労働条件の下では患者への適切な医療サービスの提供に限界があります。そのため、裕福な患者は私立病院に流れ、裕福な者と貧困者との間には、受けられる医療に格差が生じていました。カンボジアの医療の現状を目の当たりにして、いかに日本の医療体制が整備されているかということや、誰もが安心して受診できる医療体制を整えることがどれほど大切なことであるかを実感できました。

英国語学研修

イギリス語学研修に参加して

2年生 有地 敦子

長旅の疲れと英語との悪戦苦闘から始まったイギリス語学研修でしたが、英語にも徐々に慣れ、ホームステイやクラスの授業を通して、充実した毎日を過ごすことができました。語学学校には、サウジアラビア、イタリア、ブラジル等様々な国から様々な年代の人が語学留学に来ていて、クラスの子と友達になって、一緒にご飯を食べたり、買い物に行ったりすることで、



様々な国からのクラスメイト達



消防士のデモンストレーション

文化や考え方の違いを知ることができました。

今回の研修の中で特に印象的だったのは、現地の消防士が車をカットするデモンストレーションの見学です。衝突事故等で負傷者が車内にいる場合、できるだけ負傷者を動かさないように車を壊して救助するそうです。迫力があり、実際の場合は生死に関わるので、より迅速に行うのだろーと感じました。他にも様々なことがありましたが、本当に充実した3週間でした。

名古屋第一赤十字病院 大規模災害実働訓練

訓練に患者役で参加して

2年生 笠原 千聖

私は、今回の名古屋第一赤十字病院大規模災害実働訓練に患者役として参加して、改めて人を思いやる気持ちの大切さを知りました。私が屋外でトリアージを受けた時や車で搬送された時には、救急隊員の方が「寒くないですか?」「具合が悪くなったらすぐに言ってくださいね」と常に声をかけてくださいました。病院内でも搬送される方ひとりひとりに言葉をかけられている姿が印象的でした。



患者の立場になると、「これからどうなるのだろう?」「あとどのくらい待つのだろう?」と不安な気持ちになったり、医療スタッフの何気ない言葉や態度に深く傷ついたりするのではないかと思います。みんなが混乱して不安になっている時だからこそ、他人を思いやる行動や言葉をかけることが大切だと感じました。私もそのような場面に遭遇した際に、冷静かつ正確な判断ができ、相手の心に寄り添って言葉をかけられるような看護師になりたいと思いました。

RCT☆LINK

サークル紹介～チーム石原～

4年生 鈴木 渉

こんにちは。サークル「チーム石原」の鈴木渉です。このサークルでは、スポーツを通じてストレス解消、リフレッシュを行い、学業により集中して取り組むことを目的に活動しています。主にバレーボール、バドミントン、卓球、ドッジボールなどの球技を行っていますが、他にもメンバーから意見を募り、可能な限り取り入れています。メンバー自身が活動内容を選び、好きなスポーツができるという、自由なサークルです。活動は週に1回なので、負担にならず、自分の都合で参加できます。気軽にスポーツがしたいという方、あまり運動が得意ではない方、どんな方でも気軽に参加していただけたと思います。皆さんの参加をお待ちしています。

NEXT RCT☆LINK

⇒ 3年生 西野巧祐くんです。



このコーナーは、学生同士のつながりをテーマに、「頑張る学生の姿」を学生がリレー形式で繋げるコーナーです! 普段の授業や実習はもちろん、大学祭やサークルなど頑張る学生さん募集中です。

東日本大震災復興支援活動



病棟実習指導風景

石巻赤十字看護専門学校支援を通して感じたこと

小児看護学 助手 増尾 美帆

この支援は、教員も被災しているため教育活動を十分に行うことが困難であることから支援の要請があり、私は2012年1月5～27日（第18班）に参加してきました。

石巻の教員は通常の業務に加え、旧学校の片付け・仮設校舎への引っ越し・新校舎建設の準備など膨大な仕事量を抱えていました。加えて、教員も被災者であるため、生活の立て直しをしなければいけない状況でもありました。しかし、教員達は、身体・精神が疲労しているにもかかわらず、前をむいて明るく、笑いあい、助け合っていました。また学生に接するときにも、教員・看護師として時には厳しさもありましたが、学生のことを思い、大切にしていると感じました。私のような学校支援教員に対しても明るく接してくれ、その上こちらの体調を気づかってくれました。

看護師をしているとき、患者さんを支えようとケアしていたはずが、気が付けば患者さんに支えられ今日があるように、支援のために行ったはずが、その教員達と関わることで、温かい気持ちをもらい、私の方が支えられているように感じました。

また、看護師というのは、死ということに頻繁に出会う職業の一つです。死が身近であるからこそ『生きること』が何なのか、自分でも、職場の人たちとも、そしてなによりも患者さんとその家族の人たちと共に考えることが多かったです。その中で患者さんは病気になる意味を見出し、その意味を教えてくださいました。また、患者さんは危機的な状況にありながら、周りに対して優しく、人として強くなっていける姿を目の

当たりにして、人がもつちからは本当に計り知れないものがあると感じていました。

今回、関わった教員達も生命の危機を経験し、今もなお危機的な状況におかれています。強くならざるを得ない環境ではありますが、この教員達の人としての強さを感じ、人のもつちからに本当に驚かされました。



平成24年3月までは、近くの大学の一部を借りて演習・授業を行っていた。この写真は、ロビー（休憩場所）のようなところをロッカーで間仕切りし、実習室として利用していた。
夏は、冷房がはいらず、汗だくになりながらの演習だったのとのこと。

昨年、『絆』がその一年の世相を表す漢字となりましたが、人と関わることで感じる心の温もりが『絆』の一つであり、人と関わることで知る『人がもつちから』を感じ、そのちからを支えたいという思いが看護師・教員という職業を続けていく原動力なのだろうなあと思いながら石巻から帰ってきました。

*被災直後の石巻赤十字看護専門学校の教員・学生の活動について森岡薫先生が書かれており、これは東日本大震災の被災地にある学校からのメッセージ、看護教育Vol.12 No.12に掲載されています。



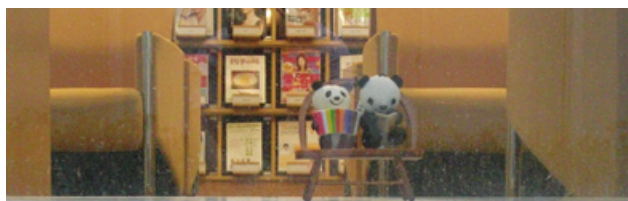
現在復興支援室・図書室、ここが平成24年4月～25年3月の仮校舎となる。

Academic Library

看護学図書館

図書館司書 中尾 明子

「看護学」って何？ 高校生や新生に説明する際に、看護の「看」の訓読みの質問から始めてみる。「看る」は「見る、診る、視る、観る」等とどう違うの？「医学は病気を診る、看護学は人を見る学問なんだよ」だけでは、わかってもらえない。次は【看】の字を分解。「手」と「目」で患者を「みまもる」学問。おまけに



護という文字には「言葉」という字も含まれていて、これも看護では重要なキーワード。「では、看護は実学？」いやいや、それでは読みが浅すぎる。

「人間が深い」と同じくらい看護学も深い。看護学のバックヤードには「哲学」「心理学」「倫理学」「社会学」「福祉学」など、いろいろな分野の学習が基礎となっている。もちろん、医学の知識も不可欠。・・・これらが本学図書館の蔵書を構成している。

機会があって全国図書館大会で「日本看護図書館協会」を紹介した際、館種別団体の説明に加え、上記のデモンストレーションを行ったところ、聴衆を睡魔から脱出させることに成功した。後日、某医科大学から看護学蔵書の見学申し入れがあったことを付け加えておきたい。快哉！

研究の窓

小児看護学教室の紹介

小児看護学 学部長 大西 文子

小児看護学教室のメンバー（以降、小鳥メンバーと称す）は、どのような環境にも慣れ親しむという得意技を持つ大阪育ちの増尾先生、見た目とは違う・・・かもしれない神道先生、パードウォッチングが趣味のマダム・・・と呼ばれる大西の3人です。増尾先生と私は、昨年4月に着任したばかりであり、神道先生の足を引っぱってきました。それでも昨年は4人体制であったこともあり、前期には講義・演習と実習の4教科を、後期には2教科を無事成し遂げました。それを乗り越え、増尾先生と私は何とか2年目を迎えようとし



小鳥メンバー：左から神道、大西、増尾



ています。その背後には、神道先生のサポートが大きかったことに感謝し、新年度はなるべく神道先生の足を引っぱらないように、目標を立てて迎えようと心に決めています。その目標は、小児看護学教室を訪ねてきてくれた際にでもお見せしましょう。

さて、小鳥メンバーは「慢性疾患をもつ子どもの社会復帰を支える家族と多職種連携の実態」をテーマとして、楽しみにしていた研究を始めたばかりです。財団法人テルモ科学技術振興財団より研究助成金を受け、そのお金で研究フィールド、すなわち、病院、保育所、幼稚園、学校へ出かけていき、対象の方からインタビューをさせていただく予定です。

小鳥メンバーは、「看護研究は、看護の実際に根付いたもので今後役立つものでなければならない。」をモットーに、今後も臨地に密着した看護研究を進め、机上の授業の展開にも役立つように頑張っていきます。

子どもに関心のある方、ぜひ、小児看護学教室のドアを叩いてみませんか！



Information

平成24年度入学試験結果

入試区分	定員	受験者	合格者数	入学者数	倍率
一般入学試験	55	549(63)	144(7)	67(3)	3.8
社会人特別選抜入試	5	9(3)	2(0)	2(0)	4.5
高等学校長推薦入試	30	74(5)	29(3)	29(3)	2.6
支部長推薦入試	30	38(2)	38(2)	37(2)	1.0
合 計	120	670(73)	213(12)	135(8)	

入試区分	定員	受験者	合格者数	入学者数	倍率
大学院入学試験	10	7(1)	7(1)	7(1)	1.0

※()内は男子学生数再掲

イベントのご案内

●第9回いとすぎ祭

開催日時：平成24年5月26日(土)

10:00~17:00(予定)

場 所：日本赤十字豊田看護大学内

開催内容：各種模擬店・ステージショー・ヘルスチェック
非常食炊き出し・フリーマーケット・特別講演会
献血 ほか

●里帰りイベント

開催日時：平成24年5月26日(土) いとすぎ祭と同時開催

対 象 者：本学卒業生1~5期生

開催内容：講話、卒業生間交流会

●オープンキャンパス2012

・平成24年5月26日(土) いとすぎ祭と同時開催
(オープンキャンパスmini)

・平成24年7月28日(土) 10:00~15:00

・平成24年8月25日(土) 10:00~15:00

前期公開講座

●笑い、ユーモアと健康

開催日時：平成24年7月14日(土)

10:00~12:00

開催場所：日本赤十字豊田看護大学

担 当：基礎看護学領域

講座内容：生活に笑いとユーモアを取り入れる方法を、実践を交えながら行います。

※詳細は本学ホームページをご覧ください。



平成24年度新任教員

学長	安藤恒三郎		助手	林 美希	基礎看護学
教授	黒川 景	専門基礎	助手	兼松 咲	成人看護学
准教授	小林 洋子	赤十字看護学	助手	五島 裕子	成人看護学
助教	杉村 鮎美	成人看護学	助手	小林 尚子	老年看護学
助教	佐藤仁和子	精神看護学	助手	梶岡智佳子	母性看護学
助教	渡邊 節子	地域看護学	助手	三島 美紀	母性看護学
助手	服部 美穂	基礎看護学	助手	杉山 希美	地域看護学

平成24年度新任職員

総務係長	岡本 和男
企画・地域交流係長	鈴木 緑
経理課主事	立川 俊彦

編集後記

東日本大震災から1年が過ぎました。本号では引き続きまして、学内における復興支援に対する活動状況を、今回は石巻赤十字看護専門学校実習支援よりお届けいたしました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。その他、大学行事からは、第5期生卒業式、新学長を迎えての入学式の紹介、学生生活からはカンボジア国際保健医療支援実習、英国語学研修、名古屋第一赤十字病院大規模災害実働訓練の様子を紹介させていただきました。今後も、よりよい学内報が発行できるよう委員一同、頑張っまいます。

いとすぎの丘 Vol.15

発行日/2012年5月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

広報・公開講座委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <http://www.rctoyota.ac.jp/>

